

満州は日本の生命線だ！！

○満州事変

(1) **張作霖爆殺事件**（1928年）**以後の中国**

張作霖の息子であった（張学良）は、満州を支配し、**北伐**を行っていた**国民政府**（≒蒋介石）に**合流**した、1928年。ここに**中国**はほぼ**統一**された。
→**国権回復運動**（≒**反日運動**・抗日運動）へ。

(2) **関東軍**

満州におかれた陸軍部隊。満州の占領をめざしていた。

（石原莞爾 **【皇 完】**）、関東軍参謀

[欧米の代表はアメリカ、アジアの代表は日本、と予想し]

日米決戦を想定する『世界最終戦論』を説き、**満州**を占領して備えることを主張した（≒満蒙の危機）。

(3)（満州事変）、**1931～1933年**

（柳条湖事件）、**1931年**

奉天郊外の柳条湖における**南満州鉄道**の**爆破事件**。

【奉天を地図で確認！】

関東軍（…石原莞爾ら）は、中国軍の行動であるとして、**軍事行動を開始**した。

↳ **【皇 関東軍】**

真実は、関東軍の**謀略**であった。

この事件以後、**1945年**（=昭和20年）の**敗戦**までの一連の**対中国侵略戦争**を「**十五年戦争**」ともよぶ。

第2次（若槻礼次郎 **【皇 二】**）内閣

与党は**立憲民政党**。

【立憲民政党が与党…浜口雄幸内閣 & 第2次若槻礼次郎内閣の2度のみ】

満州事変に対して（不拡大方針）を**発表**。

→**関東軍**は、この方針を**無視**し、軍事行動を続けた。

→（第1次）（上海事変）、**1932年**

反日運動が激化した上海でおこった

日本人僧侶殺傷事件をきっかけとして、

海軍が上陸し、中国軍と衝突した。

世界の眼を上海に向けさせ、

この間に満州国建設計画を実行するつもりであった。

【事変…宣戦布告なしで行われる国家間の武力行為】

○第1回普通選挙と積極外交への転換(その4)

(8) (**パリ**) 不戦条約、**1928年**

米・英・仏・独・日など**15カ国**がパリで調印した**戦争放棄**に関する条約。

中国に対しては、**積極外交**をとった**田中義一内閣**であったが、
欧米に対しては、**協調外交**を引き継いでいた。

日本では、条約中の「**人民ノ名ニ於イテ**」という**文字が問題**となったが、
天皇主権の憲法を持つ日本には**適応**されない、と**内閣は乗り切った**。

○協調外交の挫折

(1)（浜口雄幸）内閣の**外交**（≒**立憲民政党**の外交）

幣原外交を復活した。

幣原喜重郎外相による（協調外交）。

【第1次若槻礼次郎内閣にて、外相。枢密院に非難された】

中国との関係を改善した。

[日中関税協定で、中国の関税自主権を認めた]

ロンドン海軍軍縮会議、**1930年**

（ロンドン海軍軍縮条約）にて、

補助艦の保有量を制限した。

【←→主力艦の制限は、ワシントン海軍軍縮条約、1922年】

米：英：日＝10：10：7

[大型巡洋艦の対米70%は、受入れられず]

(1) **浜口雄幸**内閣の**外交**（その2）

ロンドン海軍軍縮条約（…**1930年**）により、

（統帥権干犯問題 **【皇 一】**）が起きる。

海軍、立憲政友会、右翼は、

（海軍軍令部）の**承認なし**の軍備編成決定は、

↳海軍の最高軍令機関

天皇大権の一つである**統帥権の侵害**であると**政府を攻撃**した。

浜口雄幸首相、東京駅で**右翼青年**に**狙撃**された、**1930年**。

[犯人：「アメリカの言いなりに、条約締結とは何事か!」]

（**金解禁の失敗**（≒経済政策の失敗）もあった）

浜口雄幸首相、重傷をおして**登院**、**無理がたたり**、翌**1931年**、**死去**。

【→「協調外交は（挫折）した」こととなった】（→**1931年**、満州事変へ）

「男子の本懐だ！」